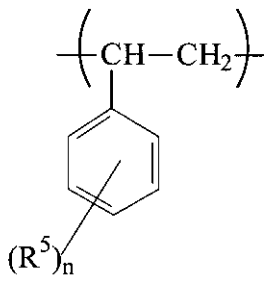
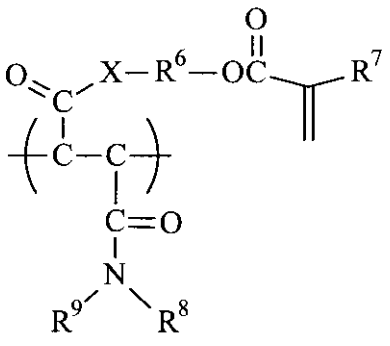
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【公表番号】特表2007-521387(P2007-521387A)
【公表日】平成19年8月2日(2007.8.2)
【年通号数】公開・登録公報2007-029
【出願番号】特願2006-545656(P2006-545656)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ 299/00 (2006.01)
Ｈ０１Ｂ 3/00 (2006.01)
Ｈ０１Ｂ 3/12 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 11/00 (2006.01)
Ｃ０８Ｆ 8/14 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ 299/00
Ｈ０１Ｂ 3/00 Ａ
Ｈ０１Ｂ 3/12 ３０３
Ｃ０９Ｄ 11/00
Ｃ０８Ｆ 8/14

【手続補正書】
【提出日】平成19年11月19日(2007.11.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
誘電体層を形成するための印刷可能な組成物であって、式：
【化１】

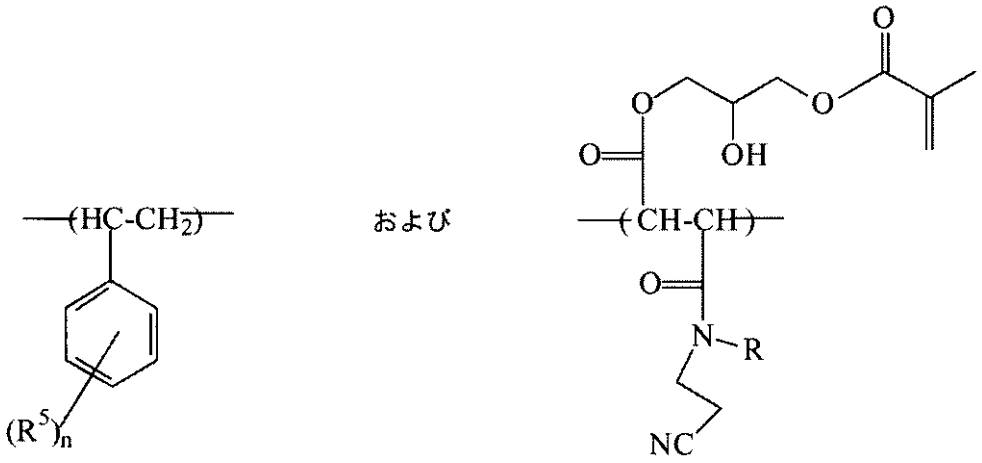


および



［上式中、ＸがＯ、Ｓ、またはＮＲ^{10}を表し、Ｒ^{10}がＨまたはＣ$_1$－Ｃ$_2$アルキル基を表し、Ｒ^{6}が、少なくとも１個のヒドロキシル基で置換されていてもよいＣ$_1$-Ｃ$_5$アルキレン基を表し、Ｒ^{7}がＨまたはＣＨ$_3$を表し、Ｒ^{8}がＣ$_1$－Ｃ$_6$アルキル基、または少なくとも１個のＣＮ基を含みＣＮ基１個当たり３０～２００の分子量を有する有機基を表し、Ｒ^{9}が、少なくとも１個のＣＮ基を含みＣＮ基１個当たり３０～２００の分子量を有する有機基を

表す］にそれぞれ相応する少なくとも２個のモノマー単位を有するポリマーと、
ポリマーと無機粒子との全体積を基準として５～６０体積パーセントの無機粒子と、
液体供給媒体と、を含み、
６０℃以下の少なくとも１つの温度において１秒$^{-1}$～１０００秒$^{-1}$の剪断速度で、連続した応力曲線を用いて測定したとき、粘度が１～４０ミリパスカル秒である、印刷可能な組成物。
【請求項２】
誘電体層を形成するための組成物であって、式：
【化２】



［上式中、ＲがＣＨ$_3$またはＣＨ$_2$ＣＨ$_2$ＣＮであり、各Ｒ^{5}が独立して、アルキル基、ハロゲン、または少なくとも１個のＣＮ基を含みＣＮ基１個当たり３０～２００の分子量を有する有機基であり、ｎ＝０～３である］にそれぞれ相応する少なくとも２個のモノマー単位を含むポリマーを、ポリマーと無機粒子との全重量を基準として５～９５重量パーセントと、
前記ポリマーと無機粒子との全体積を基準として５～６０体積パーセントの無機粒子と、
液体供給媒体と、を含み、
６０℃以下の少なくとも１つの温度において１秒$^{-1}$～１０００秒$^{-1}$の剪断速度で、連続した応力曲線を用いて測定したとき、粘度が１～４０ミリパスカル秒である、組成物。
【請求項３】
誘電体膜の形成方法であって、式：

【化３】



および

［上式中、ＸがＯ、Ｓ、またはＮＲ^{10}を表し、Ｒ^{10}がＨまたはＣ$_1$－Ｃ$_2$アルキル基を表し、Ｒ^{6}が、少なくとも１個のヒドロキシル基で置換されていてもよいＣ$_1$-Ｃ$_5$アルキレン基を表し、Ｒ^{7}がＨまたはＣＨ$_3$を表し、Ｒ^{8}がＣ$_1$－Ｃ$_6$アルキル基を表し、または少なくとも１個のＣＮ基を含みＣＮ基１個当たり３０～２００の分子量を有する有機基を表し、Ｒ^{9}が、少なくとも１個のＣＮ基を含みＣＮ基１個当たり３０～２００の分子量を有する有機基を表す］にそれぞれ相応する少なくとも２個のモノマー単位を有するポリマーと、

ポリマーと無機粒子との全体積を基準として５～６０体積パーセントの無機粒子と、

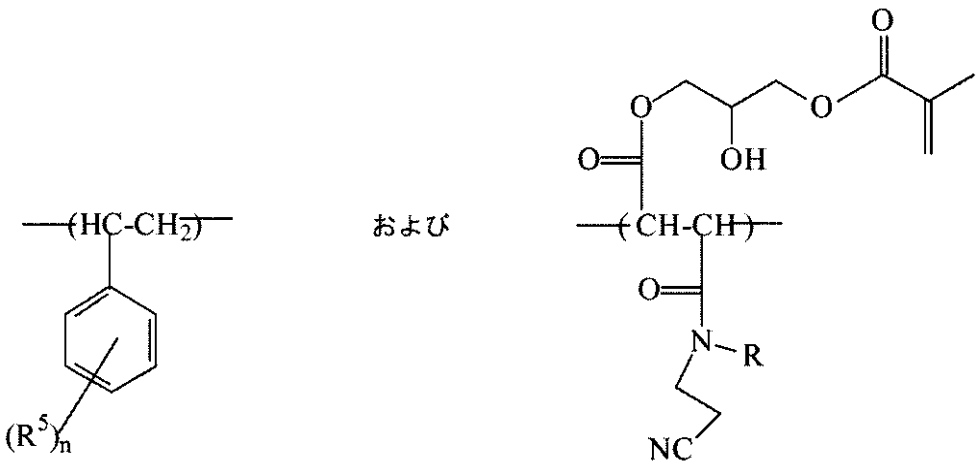
液体供給媒体と、を含み、

６０℃以下の少なくとも１つの温度において１秒$^{-1}$～１０００秒$^{-1}$の剪断速度で、連続した応力曲線を用いて測定したとき、粘度が１～４０ミリパスカル秒である、誘電体層を形成するための印刷可能な組成物を提供する工程を含む、方法。

【請求項４】

誘電体膜の形成方法であって、式：

【化４】



および

［上式中、ＲがＣＨ$_3$またはＣＨ$_2$ＣＨ$_2$ＣＮであり、各Ｒ^{5}が独立して、アルキル基、ハロゲン、または少なくとも１個のＣＮ基を含みＣＮ基１個当たり３０～２００の分子量を有する有機基であり、ｎ＝０～３である］にそれぞれ相応する少なくとも２個のモノマー単

位を含むポリマーを５０～９５重量パーセントと、前記ポリマーと無機粒子との全体積を基準として、５～６０体積パーセントの無機粒子と、液体供給媒体とを含有し、６０℃以下の少なくとも１つの温度において１秒$^{-1}$～１０００秒$^{-1}$の剪断速度で、連続した応力曲線を用いて測定したとき、粘度が１～４０ミリパスカル秒である印刷可能な組成物を提供する工程と、

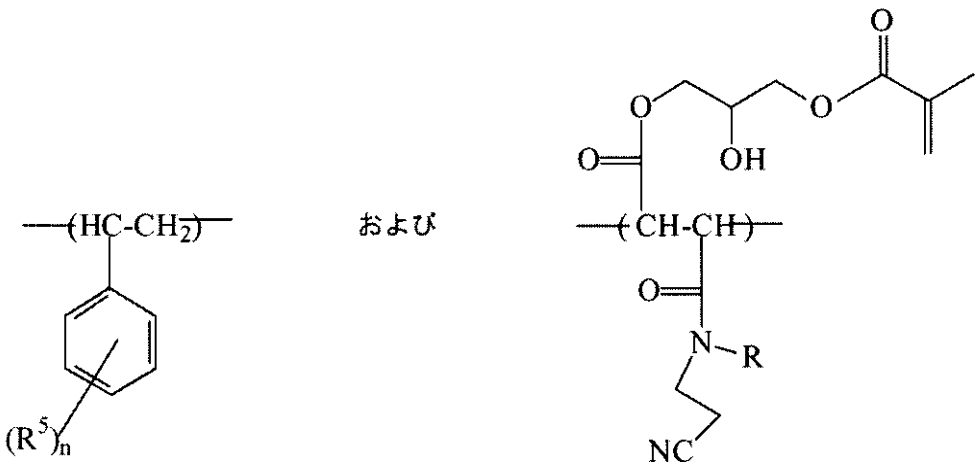
前記組成物を支持体上にデジタル方式で堆積する工程と、を含む、方法。

【請求項５】

誘電体膜の形成方法であって、

式：

【化５】



［上式中、ＲがＣＨ$_3$またはＣＨ$_2$ＣＨ$_2$ＣＮであり、各Ｒ^{5}が独立して、アルキル基、ハロゲン、または少なくとも１個のＣＮ基を含みＣＮ基１個当たり３０～２００の分子量を有する有機基であり、ｎ＝０～３である］にそれぞれ相応する少なくとも２個のモノマー単位を含むポリマーを５０～９５重量パーセントと、液体供給媒体とを含有し、６０℃以下の少なくとも１つの温度において１秒$^{-1}$～１０００秒$^{-1}$の剪断速度で、連続した応力曲線を用いて測定したとき、粘度が１～４０ミリパスカル秒である印刷可能な組成物を提供する工程と、

前記組成物を支持体上にデジタル方式で堆積する工程と、を含む方法。